

職場体験感想文コンクール2024

タイトル	職業体験を通して	事務局	304
学校名	酒田市立第三中学校	氏名	北田 怜

今回の「ワクワクワーク」では、企業の方々のお話や実際に体験をするなど、「働く」ということの楽しさや大変さについて学びました。私は働いている家族の様子を見て、「仕事は辛く、苦しいことなんだ」とマイナスイメージを持っていました。でもあの行事で見た企業の方々、「この仕事が好き」という気持ちが伝わる、すてきな笑顔でした。職業体験が始まる前は不安な気持ちもありましたが、それ以上にワクワクした気持ちでいっぱいでした。

私が一番心に残ったのは、「社会福祉法人かたほみ会」様のお話と体験でした。この体験では「福祉」について学ぶことができました。私の家は、おひいちゃんとおひいあちゃんも暮らしていて、おひいあちゃんが家事をしています。そのため、この企業の体験は一番身近だと思いました。この企業でさせてもらった体験は、ご年配の方の視覚、聴覚の体験と、車いすの体験でした。特に印象に残ったのは聴覚の体験でした。おひいあちゃんと話すときは、何度か聞き直されることが多く、私も強く答えてしまい、互いにイラッとしたり、けんかになってしまふことがあります。この聴覚の体験では、難聴の方がどのように聞こえているか体験しました。難聴の方にいつもの声量、スピードで話すと、「サッ」と「イス」が聞こえるようになり、聞き取るのがとても難しいと思いました。難聴にならなくても、高齢になると耳が遠くなると聞いたことがあったため、自分の話し方がとても配慮に欠けていたことを知りました。おひいあちゃんが私に合わせるのではなく、私が高齢者の聴覚を理解し歩み寄ること、私とおひいあちゃんとの関係をもっと良いものにできるのではなにかと思いい、この体験が一番心に残るものになりました。

今回の「ワクワクワーク」を通して、私は「働く」とは生きること、「生きる」として働くことができることを学びました。仕事の中がやりがい、楽しさを見

すこと、働くことに対してポジティブな考えができるのではないかと
思いました。でも、それが簡単にできること、これが仕事の大変さで
あることも知りました。私が働くころには、きっと仕事の仕方も社会も
変わっています。それでも、仕事に対する思いは、昔も今も未来も変わら
ないと思います。今回の体験で、働いてみたいという気持ちが一層
強まりました。